

写真展「茨城県内重要文化財指定の寺院建築」ご来場のお礼 (2013/7/17 - 23 東海村 リコッティ 1F ギャラリー)

本日はお忙しいところ、当写真展にご来場いただき、誠にありがとうございました。

無謀にも、このようなテーマで写真展を開いてしまいました。

60歳で定年退職して約2年半が過ぎた頃、昔からの写真への思いが急に頭を上げ、とにかくまた写真をとろうと思いたち、2012/11/1に、ネットオークションでニコン D5100+18-55 ズームレンズを入手し、引き続きオークションや通販などで機材を集めました。

若い時に撮った写真をもとに、ホームページを2011/11/16に立ち上げているので、それに載せるネタ作りという意識もあったような気がします。

寺院建築について意識したのは、2012/12/19の福島県・白水阿弥陀堂の撮影でしたが、なぜ白水阿弥陀堂を選んだのかはよく分かりません。とにかく強いインパクトを受け、お寺の写真もいいものだ、と思いました。

2013/1/12の日記には、「茨城県内の国指定重要文化財の寺院のリストを作り、地図上で位置を確認した。2013年のテーマはこれにしよう」と書いてあり、2013年初頭には寺院建築物の撮影という構想ができたようです。

「茨城県内重要文化財の寺院建築」ということではひととおり撮影したころ、それまでに何度か写真展を見る機会があり、自分もやってみたいと思うようになりました。

今回のテーマとしては撮影期間が半年足らずで、普通に考えると個展などは“とてもとても”、ということでしょう。自分でもそう思っています。しかし、「茨城県内の重要文化財」に限っても、神社としては鹿島神宮をはじめ多くの見所がありますし、それ以外にも心ひかれる文化財が多数あります。また気になるテーマとしてすでにいろいろと出てきています。

- ・木造建築の経年劣化と修理技術
- ・各地の相輪櫓の比較
- ・古い学校建築物、古民家
- ・多宝塔の形式のバリエーション
- ・寺社建築物の礎石と柱

そこで、ひとまず「茨城県内重要文化財指定の寺院建築」のテーマで個展をやってみて、そのあとで今後どうするかを考えることにしました。

実は12年前に個展を2回開いています。最初の個展の時の芳名録が残っており、そこに署名をいただいた方には今回の御案内を差し上げるべきか、とも思いましたが、あまりに時間がたってしまったこと、前回開催した日立市、北茨城市から今回の東海村へと開催場所が変わったこと、寺院建築という非常に限定されたテーマであること、などを考えて、御案内は出さないことに致しました。これについては御理解をいただきますようお願いいたします。

【裏面に展示作品リストがあります】

写真展「茨城県内重要文化財指定の寺院建築」展示作品リスト

文化財の名称	作品 1	作品 2	作品 3	その他
佐竹寺本堂	全景	正面の空間	東側裳階下	
薬王院本堂	全景	正面	けらば	
佛性寺本堂(八角堂)	礎石列			備考 1 参照
龍禅寺三仏堂	全景	背面	須弥檀裏	
小山寺三重塔	全景	第一層	第二層の軒天	
来迎院多宝塔	全景	上層	相輪	
楞嚴寺(りょうごんじ)山門	全景	横からの眺め		
善光寺楼門	全景	裏からの眺め		
西蓮寺仁王門	全景	裏面の意匠	修理跡	
西蓮寺相輪櫓(そうりんとう)	全景	櫓身(とうしん)の文字 1, 2, 3	相輪櫓の歴史の記録, 頭部 1 2	

参考展示

白水阿弥陀堂(福島県)	全景			備考 2 参照
浄法寺相輪櫓(群馬県)	櫓身の文字			備考 3 参照

備考

- 佛生寺本堂は現在“解体修理中”で、2014年3月修理完了の見込みです。八角堂というユニークな形状で大いに興味がわきますが、今は建物が取り除かれて撮影できません。今回は礎石が見えている様子を展示しています。
- 白水阿弥陀堂は県外(福島県)にある国宝ですが、今回の展示の直接的なきっかけになったものことから参考展示します。なお、これを建てた徳姫は奥州藤原清衡の娘ですが、佐竹寺といささか深い縁があります。
清衡の最後の妻(常陸大掾氏の出と言われている)は清衡没後に上京して当時在京していた源義業に嫁して佐竹氏祖の佐竹昌義を生み、清衡の娘の一人が常陸国に来て昌義に嫁して佐竹隆義を生んだとの伝承があります。佐竹寺を強ちに庇護したのが昌義です。
- 群馬県藤岡市の浄法寺相輪櫓は西蓮寺相輪櫓とよく似た形状であり、比較のために参考展示しました。
- 今回の展示では、対象物は“重要文化財に指定された建築物”としましたので、当該寺院の他の建築物など(魅力的なものが多数あります)は展示しておりません。
- 撮影期間はほとんどが2013/1~3月で、西蓮寺相輪櫓だけは2013/5までです(参考展示は除く)。
- 撮影機材は、以下です。
 - Nikon D-5100 + AF-S DX Nikkor 18-55mm, 同 55-200mm, 同 18-105mm
 - Sony NEX-C3 + Nikkor AF 75-300 + ティルト機構付きマウントアダプター
 なお、(b)は西蓮寺相輪櫓の大部分に使用し、残りの作品は全て(a)によるものです。
- 漢字については、第3水準、第4水準まではユニコードに含まれており、パソコンで表示できることが多くなったことから、本写真展では使用することにしています。相輪櫓(そうりんとう)の櫓などが該当します。ただしこれらはファイル名としては使えなかったり、またメールで文字化けの可能性があるので注意が必要です。

2013年7月